**2017年 5月改訂(第5版　新記載要領に基づく改訂、他)
*2006年11月改訂
医療機器承認番号：16000BZZ01741000

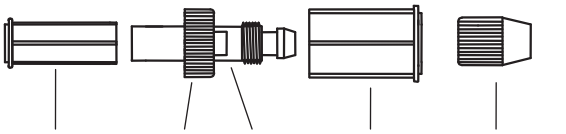
機械器具　7　内臓機能代用器
高度管理医療機器　　チタニウムアダプタ　(JMDNコード：70588000)

キャプディール カテーテルジョイント

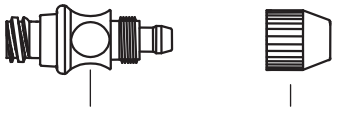
再使用禁止

** **【禁忌・禁止】**
＜使用方法＞
** 再使用禁止、再滅菌禁止

**
***【形状・構造及び原理等】**
** ＜構造図＞



カテーテルジョイント（ロック式）



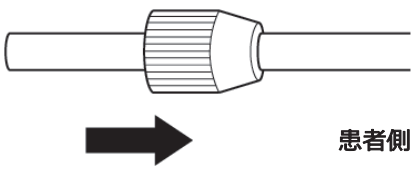
カテーテルジョイント（ロック式P）

** 品種構成

コード番号	品　種
CD-CJ01L	カテーテルジョイント　ロック式
CD-CJ01LP	カテーテルジョイント　ロック式P

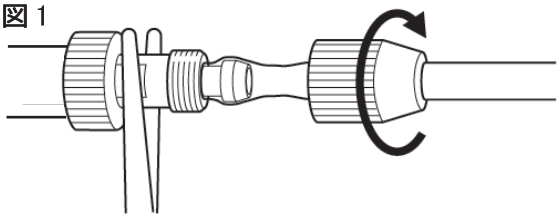
***【使用目的又は効果】**
＜使用目的＞
本品は連続携行式腹膜灌流（CAPD）を行う際にCAPD用接続チューブと腹腔内留置カテーテルを接続するための器具である。

**
***【使用方法等】**
本品は「キャプディールトランスファーチューブセット（医療機器承認番号16200BZZ00326000)」又は「キャプディールTSCDトランスファーチューブセット（医療機器承認番号20600BZZ00239000)」と適合することが確認されている。
** **＜ロック式の場合＞**
1. かしめネジを腹腔内留置カテーテルに通す。



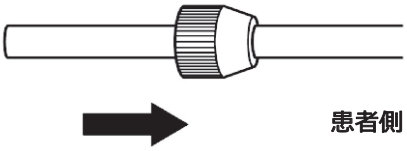
2. 本体のキャップ2を外す。
3. 本体を腹腔内留置カテーテルにまっすぐ挿入する。
4. 滅菌した鉗子等で本体を固定し、かしめネジを回しながら接続する。(図１)

図１

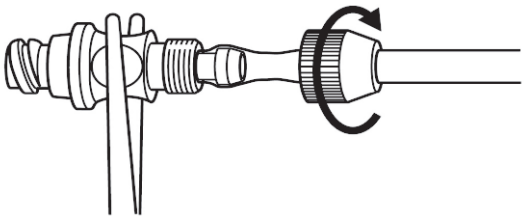


5. キャップ1を外す。
6. キャプディールトランスファーチューブセット又はキャプディールTSCDトランスファーチューブセットのチタンジョイントを押し込み、ネジが動かなくなるまで締める。
7. 更に増し締めする。
　　注意：かしめネジと本体との隙間が無くなるまで締め付けること。

** **＜ロック式Pの場合＞**
1. かしめネジを腹腔内留置カテーテルに通す。



2. 本体を腹腔内留置カテーテルにまっすぐ挿入する。
3. 滅菌した鉗子等で本体を固定し、かしめネジを回しながら接続する。



4. キャプディールトランスファーチューブセット又はキャプディールTSCDトランスファーチューブセットのプラスチックジョイントを押し込み、ネジが動かなくなるまで締める。
5. 更に増し締めする。
　　注意：かしめネジと本体との隙間が無くなるまで締め付けること。

****【使用上の注意】**
＜重要な基本的注意＞
1. 本品は、腹腔内留置カテーテル（内径：2.7±0.1mm　外径：5.0±0.1mm）以外に使用しないこと。
2. 本品とキャプディールトランスファーチューブセット及びキャプディールTSCDトランスファーチューブセットのジョイントが対応していることを確認すること。

取扱説明書を必ずご参照ください。

** (1) カテーテルジョイントとキャプディールトランスファーチューブセットの互換性

カテーテルジョイントの品種	対応するトランスファーチューブセット	
	コード番号	ジョイント材質
ロック式	CD-TS15，CD-TS30	チタニウム
ロック式P	CD-TS15P，CD-TS30P，CD-TS15PS, CD-TS30PS	プラスチック

** (2) カテーテルジョイントとキャプディールTSCDトランスファーチューブセットの互換性

カテーテルジョイントの品種	対応するTSCDトランスファーチューブセット	
	コード番号	ジョイント材質
ロック式	CD-TS05，CD-TS06，CD-TS07	チタニウム
ロック式P	CD-TS06P，CD-TS07P	プラスチック

3. 腹腔内留置カテーテルを本体に挿入する際、たわんだ状態になるまで深く挿入しないこと。［かしめネジで締める際、腹腔内留置カテーテルを傷つけ、液漏れする可能性がある。］

【保管方法及び有効期間等】

＜保管方法＞

水ぬれに注意し、直射日光及び高温多湿を避けて保管すること。

＜有効期間＞

使用期限は外箱に記載（自己認証による）

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者：**テルモ株式会社**

電 話 番 号：0120-12-8195 テルモ・コールセンター